

産廃処分品の回収を強化

テンポスバスターズ 使用済み厨房機器を再生

使用済み厨房機器のリサイクルを全国で展開するテンポスバスターズ(東京都大田区、森下篤史社長、☎03・3736・0319)は、産廃として処

同事業は、中小規模飲食店を対象に開業を支援するのが目的。販売やリースに加え、使用済み機器の再生、販売も行い強みを生かし、新たにレンタル事業を開始する。全国60拠点を実施。一度レンタルした商品も再生センターでメンテナンスし、再利用。ユーザーは低価格で厨房機器を利用でき、開業資金を抑えられるという。



使用済み厨房機器

同社のグループ企業でウエブ事業を展開するテンポスドットコムはネット上でレンタルが完結する仕組みを開発、利便性を高めるなど新たな需要開拓新規顧客を獲得し、初年度1億円、5年後10億円の上を見込む。そのため、使用済み厨房機器の受け入れを強化することが必要。

開業から5年以内にその半分が閉店するといわれる飲食業界で、同社が買い取る使用済み厨房機器は全体のごく一部でそのほとんどは産廃となる。同社中古事業部の上田雄一郎部長はそうした未開市場の掘り起こしに意欲を見せ、「ごみとして処分する前に連絡してほしい。まだ使えるものは少なくないはず」と話している。

分されている未利用品の回収・再生を強化する。産廃業者からの問い合わせに積極的に対応する考えを明らかにした。本紙の取材に答えた。